

解 答

問 1

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
b	a	b	c	b	a	b	a	c	a

問 2

(段落Ⅰは解答例として表示しています。)

Ⅱ 長編漫画やハリーポッターのオーディオブックを自主的に読む、といったことを除いては、娘が集中して物語を読むということをしていなかった、つまり、幼い頃たくさん読み聞かせをしたが、読む楽しみを植え付けるところまでには至っていなかった。

Ⅲ コロナ直前の連邦調査では、娯楽としての読書を13歳のほぼ30%が「一度も、もしくはほとんどしたことがない」と回答し、35年前の8%から大きく後退している。コロナ期にデジタル機器を見る時間の増加からも、読書は絶滅の危機に瀕した行為といえる。

Ⅳ 確かに、娘についても昨年スマホを使うようになったことが一因である。言葉も多く社交的で冷蔵庫の新しいデザートに大喜びするような娘は、発する言葉も短く、扉を閉ざして自室に籠もり、スマホ画面を見るだけの生き物に変わってしまった。

Ⅴ 13歳ぐらいの子供に、親としてスマホ禁止時間を設けて、絵を描いてみたりなどの他のことをしてみたら、と言ってみたことがある？子供から憎悪のまなざしを向けられたくなければ、これはお勧めできない方法だ。

Ⅵ 娘ぐらいの年齢の子供が求めるのは「避難できる場所」であり、それは成長過程において必要なことだとは認めるが、問題はスマホという中毒性のある混沌のなかへ埋没するという最も安易な方法を選んでいることだ。

Ⅶ 「人の心の理解に読書が必要だ」と言えば「SNSで」と、「本は物語を伝える」には「Netflix」と、「歴史を教えてくれる」には「インターネット」と、「自己を知るため」には「このままで結構」と、そして本棚に本を揃えたが「お母さんの夢ね」と言われた。

Ⅷ 読書は世界を広げ語彙を増やしてくれるが、確かにそれはインターネットでもできる。そしてこの議論はこのままではお互いが納得しないままで「読書は自分にとっていいことだ」と認識させようと口車に乗せるようなものになってしまうと考えた。

IX 読書を勧めるのは、時に自己の中の未知の感情や突然のひらめきなどをもたらしてくれるからだ。Neil Postman が書いているように動画主体の媒体とは、読書が持っている読者が埋めるべき空欄、すなわち自己の内なる発見を与えてくれるような関係を持ってない。

X 友人に娘の年頃の読書欲をかき立てる種類の本について徹底調査したところ、多くの友人が勧めてくれたのは、映像化されて娘自身も見て気に入っていた作品の原作だった。そこで、娘には「小説を1冊読んだら100ドル」という提案をし、快諾を得た。

XI 「1ヶ月以内にこの原作本を読み終えたら100ドル」とし、二人でギリシャの島へ8日間の旅に出た。7日目が終わるまでには娘はその本を読み終えていた。そして帰国後、その続編を読みたいと言って100ドル追加を求めることもなく2週間でそれも読了した。

XII 娘が今後名作を読むようになるのか、本が娘の人生の様々な同伴者となっていくのかはわからない。100ドルで娘は化粧品を買った。ただ、娘にとって本という静かな一人だけの場所への扉を二人で開けることができた。私にとっては最高のお金の使い方だった。

問3

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
×	×	×	○	○	○	×	○	×	×

問4

(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)
b	d	a	b	b	a	b	d	a	b